

くすのき



校訓「かしこく やさしく たくましく そしてふるさとを愛する子どもに」

小中一貫教育

6月17日(月)2・3校時に西合志第一小学校の17名の児童は、となりの西合志中央小学校に行き、交流学习を行いました。体育館に集まった2校合わせて120名ぐらいの児童に、中央小3年学年主任の岩本圭祐先生が、「4年後、みんなは西合志中学校に行っても同級生として一緒に中学校生活を送ることになります。中学校から「はじめまして」ではなく、今のうちから知り合いになって仲良くなっておくことは、とても大事なことです。」と話されました。本当にそうだと思います。私が中学生になったときのことを思い出すと、4校が集まる中学校だったので、4分の3は初めて会う人達です。人見知りの私にとっては、慣れるまで(仲良くなるまで・お互いを知るまで)時間がかかりました。小学生の早いうちから交流をすることは、中1ギャップを解消するとても有意義な活動です。50年前にこのような取組があれば、私は中学校に慣れるのに、



中央小と第一小の3年生と一緒に貨物列車 みんな笑顔!

あまり時間がかからなかったと思います。今回2校の3年生は、2時間目に交流のレクリエーション(猛獣狩り・貨物列車・自己紹介など)をして楽しみ、3時間目は各教室に分かれて「道徳」の授業を受けました。17名の数の少ない第一小のみんなも、徐々にいつもの自分を出して、中央小のみんなと仲良く過ごすことができました。中央小の3年生の皆さん、各担任の先生方、佐藤校長先生、ありがとうございました。これからも有意義な「小小連携」をどうぞよろしくお願いいたします。



中央小、堺優奈先生の道徳の授業と一緒に受ける中央小と第一小の児童

そうじ後、担任の先生と一緒に黙想! すばらしい落ち着き! 継続は力なり!

黙想の効果

本校では、小中一貫教育の取組として授業開始時の黙想に取り組んでいます。黙想には、心や頭を休め活き活きとしたエネルギーを沸き立たせる効果があるそうです。心を落ち着かせて大切な授業に臨む、中央小児童も西合志中学生も取り組んでいます。同じ中学校区で、そろえてやることはとても素晴らしいことだと思います。ただ、様子を見るときちんとできる人とそうでない人もいます。校長としては、88人全員ができることを目標としています。

プール開き

17日(月)プール開きがありました。水泳が好きな子はもっと好きに、嫌いな子は好きになって欲しいと思います。指導の腕の見せ所です。夏、水の事故が毎年起こります。時には牙をむく水の怖さも学んで欲しいと思います。安全に楽しく学んでください。



プール開き! 水慣れの宝探し! 盛り上がっていました。

